

# 公益社団法人 物理探査学会

## 平成27年度通常総会資料

日 時 平成27年5月12日(火)13:15～15:05

場 所 東京 早稲田大学 西早稲田キャンパス 63号館2階第3・4会議室

東京都新宿区大久保 3-4-1

### 総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 総会開始の宣言
4. 議 事

#### 決議事項

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 平成26年度事業報告及び決算報告承認の件 |
| 第2号議案 | 名誉会員選任の件             |

#### 報告事項

- 平成27年度事業計画及び予算について
- 平成27年・28年度代議員
- 平成27年度会費

(休 憩)

### 5. 平成26年度 物理探査学会表彰

- (1) 物理探査学会賞
- (2) 優秀発表賞
- (3) 学会運営功績賞
- (4) 永年在籍会員表彰
- (5) 名誉会員表彰
- (6) 功労者表彰(臨時)

### 6. 閉会の辞



# 第 1 号議案:平成26年度事業報告及び決算報告承認の件

## I. 平成 26 年度事業報告

平成 26 年度には物理探査学会が公益社団法人に認定されてから 2 年目を迎え、これまで実施してきた研究開発奨励事業、探査技術の普及促進事業、広報活動、研究活動及び表彰等の事業を継続、発展させるとともに、会員へのサービスの拡大、並びに一般社会への貢献活動にも力を注いでまいりました。

### 1. 学会事業活動

#### [1] 研究発表会の開催

##### (1) 第 130 回学術講演会

- ・開催日 平成 26 年 5 月 28 日(水)～ 5 月 30 日(金)
- ・開催場所 早稲田大学 (東京)
- ・一般講演 口頭発表 62 件, ポスター発表 8 件
- ・特別講演  
「環境浄化・資源循環プロセスを効率化するためのミネラルプロセッシング」  
所 千晴(早稲田大学)  
「深海における光計測技術」 ソートン・ブレア(東京大学)
- ・参加者 138 人

##### (2) 第 131 回学術講演会

- ・開催日 平成 26 年 10 月 21 日(火)～10 月 23 日(木)
- ・開催場所 清水テルサ (静岡)
- ・一般講演 口頭発表 52 件, ポスター発表 9 件
- ・特別講演  
「“ことば” を覚えたシロイルカ-イルカの知能と行動-」 村山 司(東海大学)  
「東日本大震災に学ぶ一次の南海トラフ巨大地震は連動するか」  
長尾 年恭(東海大学)
- ・参加者 108 人

#### [2] 会誌、書籍の編集発行等の事業

##### (1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は Vol.67, No.2～No.4 および Vol.68, No.1 の 4 号を発行した。

##### (2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG) との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について 4 号(電子版)を発行した。

##### (3) 英語版「新版物理探査適用の手引き」の発刊

EAGE をとおして「Application Manual of Geophysical Methods to Engineering and Environmental Problems」を発刊した。

##### (4) 啓蒙書の発刊

「地下を診る技術~驚異の物理探査~」を平成 26 年 10 月 5 日 Kindle 版(Amazon Services International, Inc.)を発行した。

##### (5) 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布した。

- ・物理探査ハンドブック 37 冊

・旧版物理探査適用の手引き(英文)	11 冊
・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD	34 冊
・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD	84 冊
・会誌「物理探査」 DVD (第 1 巻～第 60 巻)	7 冊
・学術講演会論文集 DVD (第 43 回～第 118 回)	2 冊
・国際シンポジウム論文集 DVD (第 1 回～第 8 回)	1 冊
・学術講演会論文集(冊子, CD)	7 冊
・新版物理探査適用の手引き(英文)	16 冊
・地下を診る技術～驚異の物理探査～	112 冊

### [3] 研究開発, 調査, コンソーシアム活動等の事業

#### (1) 研究会活動

当期年度内には地盤探査研究会, 電気探査研究会ならびに地震防災研究会は開催しなかった。

#### (2) 研究委員会活動

- ・河川堤防研究委員会は前年度に引続き, 河川堤防の安全性評価やコンクリート構造物の点検診断に係る研究を実施した。
- ・統合物理探査研究委員会は物理探査技術が有用な調査技術として利用拡大されることを目的とし, 物理探査技術の適切な適用および計画, 実施, 適切な探査結果の評価, 地盤の評価が実施されることによりプロジェクト全体における効果を検討した。
- ・統合物理探査研究委員会において, 物理探査技術が有用な調査技術として利用拡大されることを目的とし, 物理探査技術の適切な適用および探査結果の適切な解釈による地盤の評価がプロジェクト全体に及ぼす効果について検討した。
- ・空中物理探査研究委員会は電磁探査, 磁気探査ならびに重力探査等の空中物理探査の最新の処理・解析技術を検討し, 有効に活用する研究を行った。
- ・河川堤防 GPR 研究委員会を立ち上げ, 河川堤防施設に対する GPR の有効利用等について研究開発を行った。

#### (3) 研究助成金・受託研究

- ・統合物理探査による河川堤防の安全性評価技術の開発 [河川財団] 助成金 1,500,000 円
- ・平成 26 年度堤防及び河川構造物の総合的な点検・診断技術の実用化に関する研究開発(その 2) [国土技術政策総合研究所] 委託研究費 9,045,000 円
- ・平成 26 年度空中重力調査データを地熱資源等に用いるための手法検討作業 [独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構] 委託研究費 9,896,160 円
- ・河川堤防施設に対する GPR 探査の標準仕様検討及びデータベース試作業 [独立行政法人土木研究所] 委託研究費 6,512,400 円 (平成 27 年 4 月 15 日まで)

### [4] 講座, セミナーの開催, 関連学協会との協力等の事業

#### (1) 物理探査セミナー

- ・開催日 平成 26 年 7 月 15 日 (火) ～7 月 17 日 (木)
- ・開催場所 東京大学 山上会館
- ・参加者 59 名

#### (2) ワンデーセミナー

- ・開催日 平成 27 年 2 月 9 日 (月)
- ・開催場所 東京大学 山上会館
- ・テーマ 河川堤防における統合物理探査
- ・参加者 55 名

#### (3) キャンパスビジット

- ・開催日 平成 26 年 6 月 16 日 (木)
- ・開催場所 北海道大学・大学院工学院
- ・タイトル 地球のお医者さん～物理探査の最前線～
- ・参加者 40 名

(4) 関連学協会との連携・協力

① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合, (一社)資源・素材学会, (一社)日本リモートセンシング学会, 日本地熱学会, (公社)日本地震学会, (一社)日本応用地質学会, (公社)地盤工学会, (公社)計測自動制御学会, 石油技術協会と講演会等で相互に協力した。

② 日本応用地質学会と連携

土木建設分野における地質調査の精度向上を目指し, (一社)日本応用地質学会と連絡委員会を開催した。また, 平成 26 年 6 月 20 日 (金) (一社)日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会が主催する研究発表会に対して共催を行った。

③ 海外関連学会

インドネシア物理探査学会(HAGD)に齋藤会長が出席し, HAGI と MOU の締結を行った。下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に, 国際レベルの物理探査技術を会誌, ホームページ等を通じて紹介した。

- ・欧州物理探査学会(EAGE)
- ・米国物理探査学会(SEG)
- ・環境土木物理探査学会(EEGS)
- ・豪州物理探査学会(ASEG)
- ・韓国物理探査学会(KSEG)
- ・中国石油物理探査学会(SPG China)
- ・ベトナム物理探査学会(VGA)

④ SEG 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG が主催し, 日本国内で実施する下記の物理探査技術の普及・啓蒙活動に対して参加者の募集, 会場の運営等, その支援を行った。

- ・SEG 2014 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

演題: Microseismic Imaging of Hydraulic Fracturing: Improved Engineering of Unconventional Shale Reservoirs

講師: Shawn Maxwell (IMaGE)

開催日: 平成 26 年 9 月 30 日 (火)

開催場所: 産業技術総合研究所臨海副都心センター

参加者 40 名

- ・SEG Near Surface Honorary Lecture (Near Surface HL)

演題: Integrated geophysical methods applied to geotechnical and geohazard engineering: From qualitative to quantitative analysis and interpretation

講師: Koichi Hayashi (Geometrics)

開催日: 平成 26 年 10 月 15 日 (水)

開催場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス

参加者 40 名

(5) 技術士継続教育活動

平成 26 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し, 会員の技術士継続教育活動をサポートした。

## [5] 物理探査に係る広報活動事業

### (1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」No.22 から No.25 の4巻の発行を行い会員に配布するとともに国土交通省ならびに農林水産省機関に無償で配布した。

### (2) ホームページ

学会ホームページを見易くかつ親しみやすいものへ更新し、WEBを通じて広報に係る活動を実施した。

## [6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成26年度通常総会において、平成25年度物理探査学会表彰を行った。

### (1) 事例研究賞

- ・受賞者：稲崎富士
- ・対象論文：対象論文：稲崎富士，液状化被災地における物理探査および地質学的総合調査：千葉県幕張海浜公園での浅部地盤調査例，物理探査，66，45-55.
- ・受賞者：根木健之，松尾公一，横井浩一
- ・対象論文：根木健之・梅田浩司・松尾公一・浅森浩一・横井浩一・大原英史，MT法スペクトルデータの効率的且つ効果的な編集方法—実データによる検証—，物理探査，64，153-165.

### (2) 奨励賞

- ・受賞者：重藤迪子
- ・対象論文：重藤迪子・高井伸雄・笹谷努，低周波数帯域におけるS波伝播経路のQ値の推定，物理探査，65，53-66.
- ・受賞者：新色隆二
- ・対象論文：新色隆二・山中浩明，表層地盤の3次元的影响を考慮した2003年宮城県北部地震の震源域における地震動のシミュレーション，物理探査，66，139-152.

### (3) 優秀発表賞

#### ① 第128回春季学術講演会

- ・口頭発表：Hondori Ehsan Jamali

#### ② 第129回秋季学術講演会

- ・口頭発表：染井一寛，戸谷真亜久
- ・ポスター発表：陶 茉

### (4) 学会運営功績賞

#### ① 公益法人化に係る貢献

松尾 公一

#### ② 河川堤防の統合物理探査検討会運営等の一連活動

斎藤 秀樹

#### ③ 英文誌共同出版事業に対する貢献

横田 俊之

### (5) 永年在籍会員表彰

#### ① 在籍30年以上，満70歳以上(11名)

安藤 毅，五十嵐 亨，大久保 秀彦，工藤 一嘉，河野 雄平，財津 敏郎，坂尻 直巳，澤田 義博，田村 八洲夫，芳西 修，吉川 雅章

② 30年在籍賛助会員（3団体）

（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構，第一実業株式会社，シュルンベルジェ株式会社

③ 50年在籍賛助会員（1団体）

住鉱資源開発株式会社

(6) 名誉会員表彰（2名）

芦田 讓，牛島 恵輔

[7] その他目的を達成するために必要な事業

学会の活性化を図るため継続して学会業務のIT化を推進すると共に，学会ホームページの維持管理を行った。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成26年5月29日(木)，東京，早稲田大学国際会議場にて開催した。

[2] 理事会

下記のとおり理事会を開催した。

臨時理事会	平成26年5月29日	早稲田大学国際会議場会議室
第77回理事会	平成26年6月23日	物理探査学会会議室
第78回理事会	平成26年10月6日	物理探査学会会議室
第79回理事会	平成27年1月23日	物理探査学会会議室
第80回理事会	平成27年4月15日	物理探査学会会議室

3. 会員状況

	平成26年3月末	平成27年3月末	増減
名誉会員	22名	23名	1名増
正会員	1196名	1096名	100名減
学生会員	81名	53名	28名減
賛助会員	105社 231口	106社 222口	1社増 9口減

以上

I. 平成 26 年度決算報告

## 貸借対照表

平成27年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	16,450,459	25,012,139	△ 8,561,680
売掛金	17,280	22,050	△ 4,770
未収金	9,045,000	1,995,000	7,050,000
棚卸資産	3,201,388	3,409,832	△ 208,444
立替金	0	20,999	△ 20,999
流動資産合計	28,714,127	30,460,020	△ 1,745,893
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的運用特定資産	21,000,000	21,000,000	0
特定資産合計	21,000,000	21,000,000	0
(2) その他固定資産			
敷金	660,000	660,000	0
その他固定資産合計	660,000	660,000	0
固定資産合計	21,660,000	21,660,000	0
資産合計	50,374,127	52,120,020	△ 1,745,893
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,638,435	730,000	908,435
前受会費	76,500	90,500	△ 14,000
預り金	124,592	81,764	42,828
未払法人税等	0	64,100	△ 64,100
未払消費税等	546,500	442,500	104,000
流動負債合計	2,386,027	1,408,864	977,163
負債合計	2,386,027	1,408,864	977,163
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	47,988,100	50,711,156	△ 2,723,056
(うち特定資産への充当額)	(21,000,000)	(21,000,000)	
正味財産合計	47,988,100	50,711,156	△ 2,723,056
負債及び正味財産合計	50,374,127	52,120,020	△ 1,745,893

## 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,247	5,240	7
受取会費	11,477,142	11,932,515	△ 455,373
正会員会費収入	7,157,142	7,213,145	△ 56,003
賛助会員会費収入	4,320,000	4,719,370	△ 399,370
事業収益	26,808,825	18,883,605	7,925,220
開催事業収入	4,790,600	14,199,685	△ 9,409,085
受取投稿料	150,000	85,000	65,000
頒布事業収入	2,927,065	2,603,920	323,145
受託事業	18,941,160	1,995,000	16,946,160
受取補助金	1,600,000	1,607,000	△ 7,000
受取寄付金	2,191,000	1,435,750	755,250
一般寄付金	2,191,000	1,435,750	755,250
雑収入	228,208	762,577	△ 534,369
経常収益計	42,310,422	34,626,687	7,683,735
(2) 経常費用			
事業費	42,626,785	32,015,402	10,611,383
給料手当	6,352,474	5,096,488	1,255,986
臨時雇賃金	1,437,420	1,161,460	275,960
退職給付費用	403,960	371,498	32,462
福利厚生費	445,455	403,787	41,668
旅費交通費	4,334,843	1,076,978	3,257,865
会議費	607,463	365,883	241,580
通信運搬費	925,741	900,269	25,472
消耗品費	494,317	705,720	△ 211,403
印刷製本費	5,543,887	5,188,183	355,704
光熱水料費	336,728	315,383	20,345
賃借料	10,068,474	11,083,826	△ 1,015,352
保険料	28,914	9,161	19,753
諸謝金	866,329	1,040,068	△ 173,739
出版物原価	208,444	79,597	128,847
支払負担金	162,162	126,000	36,162
表彰品費	201,186	200,760	426
支払奨励金	0	69,440	△ 69,440
支払手数料	218,227	587,558	△ 369,331
租税公課	468,342	450,729	17,613
委託費	9,062,226	2,372,654	6,689,572
雑費	461,193	409,960	51,233
管理費	2,406,699	2,089,095	317,604
給料手当	1,007,526	939,779	67,747
退職給付費用	76,040	68,502	7,538
福利厚生費	83,849	74,456	9,393
旅費交通費	89,560	76,724	12,836
会議費	16,660	2,522	14,138
通信運搬費	47,817	35,572	12,245
消耗品費	32,755	27,152	5,603
印刷製本費	32,783	39,263	△ 6,480
光熱水料費	46,278	43,199	3,079
賃借料	680,271	585,905	94,366
保険料	1,586	1,689	△ 103
支払手数料	28,329	29,048	△ 719
租税公課	88,158	1,771	86,387
支払負担金	15,278	0	15,278
委託費	95,050	101,198	△ 6,148
雑費	64,753	62,315	2,438
経常費用計	45,033,478	34,104,497	10,928,981
評価損益調整前当期増減額	△ 2,723,056	522,190	△ 3,245,246
当期経常増減額	△ 2,723,056	522,190	△ 3,245,246
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	△ 2,723,056	522,190	△ 3,245,246
法人住民事業税	0	64,100	△ 64,100
当期一般正味財産増減額	△ 2,723,056	458,090	△ 3,181,146
一般正味財産期首残高	50,711,156	50,253,066	458,090
一般正味財産期末残高	47,988,100	50,711,156	△ 2,723,056
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	47,988,100	50,711,156	△ 2,723,056

公益社団法人 物理探査学会

正味財産増減計算書内訳表  
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	合計
<b>科 目</b>			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,247	0	5,247
受取会費	9,078,604	2,398,538	11,477,142
正会員会費収入	4,758,604	2,398,538	7,157,142
賛助会員会費収入	4,320,000	0	4,320,000
事業収益	26,808,825	0	26,808,825
開催事業収入	4,790,600	0	4,790,600
受取投稿料	150,000	0	150,000
頒布事業収入	2,927,065	0	2,927,065
受託事業	18,941,160	0	18,941,160
受取補助金	1,600,000	0	1,600,000
受取寄付金	2,191,000	0	2,191,000
一般寄付金	2,191,000	0	2,191,000
雑収入	220,053	8,155	228,208
経常収益計	39,908,729	2,406,693	42,315,422
(2) 経常費用			
事業費	42,626,785	0	42,626,785
給料手当	6,352,474	0	6,352,474
臨時雇賃金	1,437,420	0	1,437,420
退職給付費用	403,960	0	403,960
福利厚生費	445,455	0	445,455
旅費交通費	4,334,843	0	4,334,843
会議費	607,463	0	607,463
通信運搬費	925,741	0	925,741
消耗品費	494,317	0	494,317
印刷製本費	5,543,887	0	5,543,887
光熱水料費	335,728	0	335,728
賃借料	10,068,474	0	10,068,474
保険料	28,914	0	28,914
諸謝金	866,329	0	866,329
出版物原価	208,444	0	208,444
支払負担金	162,162	0	162,162
表彰品費	201,186	0	201,186
支払手数料	218,227	0	218,227
租税公課	468,342	0	468,342
委託費	9,062,226	0	9,062,226
雑費	461,193	0	461,193
管理費	0	2,406,693	2,406,693
給料手当	0	1,007,526	1,007,526
退職給付費用	0	76,040	76,040
福利厚生費	0	83,849	83,849
旅費交通費	0	89,560	89,560
会議費	0	16,660	16,660
通信運搬費	0	47,817	47,817
消耗品費	0	32,755	32,755
印刷製本費	0	32,783	32,783
光熱水料費	0	46,278	46,278
賃借料	0	680,271	680,271
保険料	0	1,586	1,586
支払手数料	0	28,329	28,329
租税公課	0	88,158	88,158
支払負担金	0	15,278	15,278
委託費	0	95,050	95,050
雑費	0	64,753	64,753
経常費用計	42,626,785	2,406,693	45,033,478
評価損益調整前当期増減額	△ 2,723,056	0	△ 2,723,056
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,723,056	0	△ 2,723,056
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,723,056	0	△ 2,723,056
一般正味財産期首残高			60,711,166
一般正味財産期末残高			47,988,100
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
<b>III 正味財産期末残高</b>			47,988,100

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準方法は、先入先出法による原価法を採用している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等は税込処理を行っている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的運用特定資産	21,000,000	0	0	21,000,000
合 計	21,000,000	0	0	21,000,000

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等は、一般正味財産からの充当額である。

### 4. 担保に供している資産

該当なし。

### 5. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

### 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
河川整備基金助成金	(公財)河川財団	0	1,500,000	1,500,000	0	
全国大会補助金	静岡市	0	100,000	100,000	0	
合 計		0	1,600,000	1,600,000	0	

### 7. 重要な後発事象

該当なし。

# 財産目録

平成27年 3月31日現在

公益社団法人 物理探査学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	手元保管	運転資金として	11,302	
		普通預金	"	14,578,157	
		三菱東京UFJ・大森支店	"	1,705,455	
		三井住友・大森支店	"	93,613	
		三井住友・浅草橋支店	"	184,083	
		三菱東京UFJ・大森支店	"	171,332	
		三菱東京UFJ・大森支店	"	9,897,263	
		三井住友・大森支店	"	77,518	
		三井住友・大森支店	"	2,442,754	
		三井住友・大森支店	"	6,139	
		郵便貯金		1,861,000	
		岩本町郵便局・普通	"	209,941	
		岩本町郵便局・普通	"	1,394,904	
		岩本町郵便局・普通	"	256,155	
	売掛金	書籍頒布に伴う売掛		17,280	
未収金	国土交通省研究開発費		9,045,000		
棚卸資産	書籍在庫品を倉庫にて保管		3,201,388		
流動資産合計				28,714,127	
(固定資産)	特定資産	公益目的運用特定資産	定期預金 三井住友・大森支店 三菱東京UFJ・大森支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	21,000,000
					11,000,000
					10,000,000
その他固定資産	敷金	主たる事務所敷金	本部敷金であり、2/3を公益目的事業の用に供している	660,000	
固定資産合計				21,660,000	
資産合計				50,374,127	
(流動負債)	未払金 前受会費 預り金 未払消費税等	ASEG負担金、IT管理料 前納会費	事務職員預り分	1,638,435	
				76,500	
		源泉、保険料等の預り金		124,592	
		546,500			
流動負債合計				2,386,027	
負債合計				2,386,027	
正味財産				47,988,100	

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2に記載のとおりである。

# 監査報告書

公益社団法人 物理探査学会  
会長 齋藤 秀樹 殿

平成 27 年 4 月 11 日

公益社団法人 物理探査学会

監事 中野 修 

監事 西田 大介 

私たちは、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの平成 26 年度における業務の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及び内容

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他重要な会議に出席し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益状況を全ての重要な点において適正に表示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以 上

## 第2号議案:名誉会員選任の件

平成 27 年 4 月に開催された第 80 回理事会の議決により、津 宏治氏ならびに齋藤 徳美氏を名誉会員に推薦します。

### 津 宏治氏の推薦理由

津宏治氏は、本学会の理事を 12 年にわたり務められるほか数多くの委員会活動をリードされ、学会活動へ大きく貢献されました。

また、国内空中磁気図の作成や全国地熱情報データベースの構築にご尽力されるとともに、人工衛星 Terra 搭載の ASTER センサの日米共同開発プロジェクトにおける、日本側サイエンスチームのリーダーとして、20 年以上の長きにわたりプロジェクトを牽引され、リモートセンシング利用技術の普及に多大なる貢献を遂げられました。

このように、同氏の物理探査学会への貢献は多大であると思料されます。

### 齋藤 徳美氏の推薦理由

齋藤徳美氏は、本学会の理事を 13 年にわたり務められ、平成 16~17 年には副会長を務められるほか、委員会活動もリードされ、学会活動へ大きく貢献されました。

さらに、地震・火山・津波の防災研究をご専門として、特に、地域防災工学の研究とその成果の実践、後進の育成に精力的に取り組んでこられました。防災分野における物探技術の利用研究について幅広い視点から取り組まれ、普及・啓蒙活動にも多大の功績を挙げられました。

このように、同氏の物理探査学会への貢献は多大であると思料されます。

# 平成27年度事業計画

## I. 平成 27 年度事業計画

平成 27 年度は、これまで実施してきた研究開発奨励促進事業，探査技術の普及促進事業，広報活動，研究活動及び表彰等の事業を継続し，従来に増して発展させるとともに，会員へのサービスの拡大並びに一般社会への貢献にこれまで以上に力を注いで学会活動の充実を図ります。特に平成 27 年度には「物理探査ハンドブック」改訂版を発刊させ，探査技術の普及促進に注力するとともに，第 12 回国際シンポジウムを開催し，その中で一般公開講演を企画するなどして，一般社会への貢献活動にもいっそう力を注いでまいります。

### 1. 学会事業活動

#### [1] 研究発表会の開催

物理探査学に係る研究開発の奨励促進を図るために以下の事業を実施する。

##### (1) 第 132 回学術講演会

- ・開催日 平成 27 年 5 月 11 日(月)～ 5 月 13 日(水)
- ・開催場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス (東京)

##### (2) Near-Surface Asia Pacific Conference

- ・開催日 平成 27 年 7 月 7 日(火)～7 月 10 日(金)
- ・開催場所 Hilton Waikoloa Village (ハワイ)

##### (3) 第 133 回学術講演会

- ・開催日 平成 27 年 9 月 24 日(木)～9 月 26 日(土)
- ・開催場所 石川県文教会館 (金沢)

##### (4) 第 12 回国際シンポジウム

- ・開催日 平成 27 年 11 月 18 日(水)～11 月 20 日(金)
- ・開催場所 東京大学伊藤国際学術研究センター (東京)

#### [2] 会誌，書籍の編集発行等の事業

##### (1) 和文会誌発刊

和文誌「物理探査」は Vol.68,No.2～No.4 および Vol.69,No.1 の 4 巻を発行する。

##### (2) 英文会誌発刊

豪州物理探査学会(ASEG)・韓国物理探査学会(KSEG)との共同で出版する英文誌「Exploration Geophysics」について 4 号(電子版)を発行する。

##### (3) 「物理探査ハンドブック」改訂版の発刊

平成 11 年に発刊された「物理探査ハンドブック」の在庫数が少なくなったこと，物理探査技術が進歩したことを踏まえ発刊する。

##### (4) 技術資料等の頒布

既存の以下の技術資料等の出版物を継続して頒布する。

- ・物理探査ハンドブック
- ・旧版物理探査適用の手引き(英文)
- ・最新の物理探査適用事例集 冊子・CD
- ・新版物理探査適用の手引き 冊子・CD
- ・会誌「物理探査」 DVD (第 1 巻～第 60 巻)
- ・学術講演会論文集 DVD (第 43 回～第 118 回)
- ・国際シンポジウム論文集 DVD (第 1 回～第 8 回)

- ・学術講演会論文集(冊子, CD)
- ・新版物理探査適用の手引き(英文)
- ・地下を診る技術~驚異の物理探査~

### [3] 研究開発, 調査, コンソーシアム活動等の事業

#### (1) 研究会活動

当期年度内には地盤探査研究会, 電気探査研究会ならびに地震防災研究会活動を積極的に行う。

#### (2) 研究委員会活動

- ・河川堤防研究委員会において, 河川堤防の安全性評価に係る研究を実施する。
- ・統合物理探査研究委員会において, 物理探査技術が有用な調査技術として利用拡大されることを目的とし, 物理探査技術の適切な適用および探査結果の適切な解釈による地盤の評価がプロジェクト全体に及ぼす効果について検討する。
- ・河川堤防 GPR 研究委員会において, 河川堤防施設に対する GPR の有効利用等について研究開発を行う。

#### (3) 受託研究

- ・平成 26 年度に引続き, 堤防及び河川構造物の総合的な点検・診断技術の実用化に関する研究開発を土木研究所と共同で行う。
- ・物理探査に関し専門的知識を必要とする委託研究等に対して積極的に応募する。

#### (4) 他学会との連携

(一社)日本応用地質学会とシンポジウムを下記のとおり共催する。

- ・タイトル: 土木地質図の信頼性に関する課題と対策
- ・開催日 平成 27 年 6 月 12 日
- ・開催場所 東京大学 柏キャンパス 新領域環境棟 FS ホール

### [4] 講座, セミナーの開催, 関連学協会との協力等の事業

#### (1) 物理探査セミナー

- ・開催日 平成 27 年 7 月 7 日~9 日
- ・開催場所 東京大学 山上会館

#### (2) ワンデーセミナー

- ・開催日 平成 28 年 1 月下旬から 2 月中旬を予定
- ・開催場所 首都圏

#### (3) キャンパスビジット

- ・開催日 平成 27 年 6 月末
- ・開催場所 北海道大学工学部環境社会工学科 (予定)

#### (4) 関連学協会との連携・協力

##### ① 国内関連学協会

(公社)日本地球惑星科学連合, (一社)資源・素材学会, (一社)日本リモートセンシング学会, 日本地熱学会, (公社)日本地震学会, (一社)日本応用地質学会, (公社)地盤工学会, (公社)計測自動制御学会, 石油技術協会と講演会等で相互に協力する。

##### ② 日本応用地質学会と連携

土木建設分野における地質調査の精度向上を目指し, (一社)日本応用地質学会と研究委員会を開催する。

##### ③ 海外関連学会

下記関連国際学会の講演会・年次総会に参加して国際交流を深めると共に, 国際レベルの物理探査技術を会誌, ホームページ等を通じて紹介する。

- ・ 欧州物理探査学会(EAGE)
- ・ 米国物理探査学会(SEG)
- ・ 環境土木物理探査学会(EEGS)
- ・ 豪州物理探査学会(ASEG)
- ・ 韓国物理探査学会(KSEG)
- ・ 中国石油物理探査学会(SPG China)
- ・ ベトナム物理探査学会(VGA)
- ・ インドネシア物理探査学会(HAGI)

④ SEG/EAGE 教育プログラムの開催支援

海外の関連学会 SEG および EAGE が主催し、日本国内で実施する下記の物理探査技術の普及・啓蒙活動に対して本年度も参加者の募集、会場の運営等、その支援を行う。

- ・ SEG 2015 Distinguished Instructor Short Course (DISC)

演 題： Engineering Seismology: With Applications to Geotechnical Engineering

講 師： Öz Yilmaz

日 時： 2015 年 9 月 9 日 (水) 予定

場 所： 未定 (都内を予定)

- ・ SEG 2015 Near Surface Honorary Lecture (Near Surface HL)

演題： The curse of dimensionality in exploring the subsurface

講 師： Hansruedi Maurer (ETH Zürich)

日 時： 2015 年 10 月頃 (予定)

場 所： 未定 (都内を予定)

- ・ EAGE Education Tour (EET) セミナー

演 題： Satellite InSAR Data: Reservoir Monitoring from Space

講 師： Alessandro Ferretti (Tele-Rilevamento Europa - Milan, Italy)

日 時： 2015 年 11 月 17 日 (火)

場 所： 東京大学

(5) 技術士継続教育活動

平成 27 年度も関係 7 学協会と連携して生涯学習支援システムの共同運営を継続し、会員の技術士継続教育活動をサポートした。

[5] 物理探査に係る広報活動事業

(1) 物理探査ニュース

「物理探査ニュース」 No.26 から No.29 の 4 巻の発行を行い会員に配布するとともに国土交通省ならびに農林水産省機関に無償で配布する。

(2) ホームページ

学会ホームページをさらに見易くかつ親しみやすいものへ更新し、WEB を通じて広報に係る活動を実施する。また、会費納付にあたり国内在住者を対象にクレジットカードの利用を導入する。

[6] 物理探査学に係る研究、活動に対する表彰事業

平成 27 年度において、以下の表彰等を行う。

(1) 物理探査学会賞

①論文賞，事例研究賞，業績賞

会誌に発表された論説・論文・短報の中から特に優秀なものに物理探査学会論文賞を、ケーススタディ・技術報告の中から特に優秀なものに同事例研究賞を、また、探査技術の進歩に寄与あるいは著しい探査成果をあげた業績の中から特に優秀なものに同業績賞を授与する。

② 物理探査学会奨励賞

若手会員の活動を評価・支援するべく奨励賞を授与する。

(2) 学術講演会等における優秀発表賞

学術講演会等の活性化と技術の向上を図るため、若手研究者、技術者(35歳以下)に優秀発表賞を授与する。

(3) 学会運営功績賞

運営発展に特段の功績があった会員あるいは団体に運営功績賞を授与する。

(4) 永年在籍会員表彰

在籍 30 年かつ満 70 歳を超える正会員、および在籍 30 年に達した賛助会員とさらに 20 年に達した賛助会員に授与する。

(5) 名誉会員表彰

満 70 歳を超え会長の経験者または物理探査に関する学術、技術の発展に大きな貢献があった会員、あるいは会員歴 30 年以上でかつ 10 年以上本学会の役員を勤め学会の運営発展、学術・技術貢献、学会発展に貢献があった会員に授与する。

[7] その他目的を達成するために必要な事業

学会の活性化を図るため継続して学会業務の I T 化を推進すると共に、学会ホームページの維持管理を行う。

2. 学会の経営・運営に関する会議の開催

[1] 通常総会

平成 27 年 5 月 12 日(火)、東京、早稲田大学西早稲田キャンパスにて開催する。

[2] 理事会

平成 27 年度中に 4 回開催する。

[3] 運営幹事会

平成 27 年度中に必要に応じて開催する。

## II. 平成 27 年度収支予算

公益社団法人 物理探査学会

### 平成 27 年度予算書

	公益目的 事業	法人会計	合計
<b>科 目</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
特定資産運用益	5,000	0	5,000
受取会費	9,659,906	3,140,094	12,800,000
正会員会費収入	5,359,906	3,140,094	8,500,000
賛助会員会費収	4,300,000	0	4,300,000
事業収入	42,860,000	0	42,860,000
開催事業収入	15,260,000	0	15,260,000
投稿料収入	200,000	0	200,000
頒布事業収入	2,400,000	0	2,400,000
受託事業収入	25,000,000	0	25,000,000
補助金収入	200,000	0	200,000
受取寄付金	1,300,000	0	1,300,000
雑収入	95,000	0	95,000
<b>経常収益計</b>	<b>54,119,906</b>	<b>3,140,094</b>	<b>57,260,000</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
事業費	54,119,906	0	54,119,906
給料手当	4,951,138	0	4,951,138
臨時雇賃金	1,125,000	0	1,125,000
退職給付費用	373,672	0	373,672
福利厚生費	428,165	0	428,165
旅費交通費	551,393	0	551,393
会議費	836,172	0	836,172
通信運搬費	790,697	0	790,697
消耗品費	156,772	0	156,772
印刷製本費	5,150,697	0	5,150,697
光熱水料費	330,413	0	330,413
賃借料	8,882,686	0	8,882,686
保険料	7,784	0	7,784
諸謝金	560,000	0	560,000
出版物原価	100,000	0	100,000
支払負担金	72,784	0	72,784
表彰品費	110,000	0	110,000
支払奨励金	20,000	0	20,000
支払手数料	273,545	0	273,545
租税公課	450,000	0	450,000
委託費	28,445,443	0	28,445,443
雑費	503,545	0	503,545
管理費	0	3,140,094	3,140,094
給料手当	0	1,408,861	1,408,861
退職給付費用	0	106,329	106,329
福利厚生費	0	121,835	121,835
旅費交通費	0	88,608	88,608
会議費	0	18,829	18,829
通信運搬費	0	44,304	44,304
消耗品費	0	33,228	33,228
印刷製本費	0	44,304	44,304
光熱水料費	0	69,588	69,588
賃借料	0	927,316	927,316
保険料	0	2,215	2,215
支払手数料	0	66,456	66,456
支払負担金	0	2,215	2,215
委託費	0	139,557	139,557
雑費	0	66,449	66,449
<b>経常費計</b>	<b>54,119,906</b>	<b>3,140,094</b>	<b>57,260,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0

## 平成27年・28年度代議員

物理探査学会規則第3章に基づき、代議員選挙の公示を決議し、平成26年12月15日～平成27年1月30日の間、代議員候補者の公募を実施致しました。その結果、定数80～120名に対して下記のとおり105名の推薦があり、代議員選挙管理委員会による資格審査を経るとともに本人の意思確認を行った後代議員となりました。なお、選任された役員の任期は平成29年度の通常総会において次期代議員が選任されるまでの2年間となります。

平成27年度、28年度代議員名簿

氏名	所属	氏名	所属
赤澤 正彦	(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	鈴木 文大	日本物理探査(株)
東 宏幸	(公財) 地球環境産業技術研究機構	薛 自求	(公財) 地球環境産業技術研究機構
足立 幾久	大和探査技術(株)	高井 伸雄	北海道大学
阿部 進	(株) 地球科学総合研究所	高市 和義	伊藤忠テクノソリューションズ(株)
荒井 英一	(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	高倉 伸一	(国研) 産業技術総合研究所
池上 徹	シュルンベルジェ(株)	高橋 亨	(公財) 深田地質研究所
石橋 利久	JX日鉱日石探開(株)	武田 祐啓	住鉱資源開発(株)
伊東 俊一郎	サンコーコンサルタント(株)	田中 啓二	三菱マテリアルテクノ(株)
稲崎 富士	(国研) 土木研究所	田中 智之	(株) 地球科学総合研究所
井上 敬資	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構	千田 敬二	大日本コンサルタント(株)
今井 博	サンコーコンサルタント(株)	筒井 智樹	秋田大学
今里 武彦	(株) 日本地下探査	鶴 哲郎	(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構
今村 杉夫	(有) 地圏探査技術研究所	手塚 和彦	石油資源開発(株)
岩本 鋼司	応用地質(株)	徳丸 哲義	徳丸技術士事務所
浴 信博	大和探査技術(株)	利岡 徹馬	(公財) 地球環境産業技術研究機構
大西 正純	(株) ジオシス	中田 晴弥	地熱技術開発(株)
大野 裕記	四国電力(株)	永野 宏治	室蘭工業大学
岡田 聡	応用地質(株)	中山 圭子	早稲田大学
小田 義也	首都大学東京	西谷 忠師	秋田大学
尾西 恭亮	秋田大学	橋本 裕司	応用地質(株)
香川 敬生	鳥取大学	長谷川 信介	応用地質(株)
笠置 敏郎	日鉄鉱コンサルタント(株)	羽藤 正実	早稲田大学
笠谷 貴史	(国研) 海洋研究開発機構	馬場 久紀	東海大学
柏原 功治	石油資源開発(株)	林 宏一	Geometrics
梶原 竜哉	地熱エンジニアリング(株)	平林 伸康	シュルンベルジェ(株)
金田 義行	名古屋大学	福岡 晃一郎	西日本技術開発(株)
河合 展夫	(株) 地球科学総合研究所	藤川 真治	ジオテクノス(株)
河村 茂樹	日本物理探査(株)	古村 孝志	東京大学
菅 公男	北光ジオリサーチ(株)	程塚 保行	(株) 海洋先端技術研究所
岸本 宗丸	日鉄鉱コンサルタント(株)	堀田 淳	(株) ジオテック
城所 和夫	地質計測(株)	松岡 稔幸	(国研) 日本原子力研究開発機構
木村 和洋	(株) 物理計測コンサルタント	松原 由和	応用地質(株)
日下 浩二	シュルンベルジェ(株)	松山 隆	国際石油開発帝石(株)
楠本 成寿	富山大学	水越 育郎	石油資源開発(株)
倉橋 稔幸	(国研) 土木研究所	水永 秀樹	九州大学
黒田 清一郎	(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構	三塚 隆	地質計測(株)
小澤 岳史	(株) 地球科学総合研究所	宮腰 研	(一財) 地域地盤環境研究所
後藤 忠徳	京都大学	村尾 英彦	(株) 村尾地研
斎藤 章	早稲田大学	村田 泰章	(国研) 産業技術総合研究所
斎藤 猛	(株) ジオフィール	森谷 祐一	東北大学
佐伯 龍男	(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	山口 和雄	(国研) 産業技術総合研究所
佐々木 吾郎	(株) 日本地下探査	山下 善弘	応用地質(株)
佐々木 裕	(株) IANSA Geophysical	山田 伸之	福岡教育大学
佐藤 龍也	地熱技術開発(株)	山根 照真	石油資源開発(株)
真田 佳典	(国研) 海洋研究開発機構	山本 俊六	(公財) 鉄道総合技術研究所
志賀 信彦	三井金属資源開発(株)	横田 俊之	(国研) 産業技術総合研究所
島 裕雅	応用地質(株)	横田 裕	(株) 阪神コンサルタンツ
清水 信之	(株) 地球科学総合研究所	吉田 武志	日本物理探査(株)
下野 祐典	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	吉村 公孝	原子力発電環境整備機構
荘司 泰敬	応用地質(株)	世森 祐一	大和探査技術(株)
神宮司 元治	(国研) 産業技術総合研究所	林 叔民	(株) 物理計測コンサルタント
杉本 芳博	(株) ダイヤコンサルタント	渡邊 貴大	国際石油開発帝石(株)
杉山 長志			

(敬称略)

## 平成27年度会費

本学会は昭和60年（1985年）に正会員の会費を5,000円から7,000円に引き上げました。その後、消費税制度の導入や税率の引き上げがありましたが、30年間の長きにわたり会費を維持してきました。この間、学会の国際化や物理探査の普及に努め、「物理探査ニュース」の発刊、各種書籍の出版、関連学協会との連携等を積極的に進めてまいりました。しかしながら、これら会員サービスの向上に伴う支出の増加、シニア会員の増加や会員数の減少等により、事務局経費等の削減だけではその増加分を補うことが難しくなっておりました。このような事情により、平成26年度総会において、本年度からの会費改定をご承認いただきました。会費改定により、会員サービスの一層の充実さらに一般社会への貢献にこれまで以上に力を注ぎ、学会活動の活性化を図りたいと考えております。

会費改定額

会 員 種 別	平成26年度まで	平成27年4月以降	備 考
正会員（一般）	7,000円	9,000円	
正会員（永年会員）	—	—	70歳以上かつ在籍30年以上
正会員（シニア会員）	3,500円	4,500円	65歳以上
正会員（学生）	3,500円	4,500円	
海外会員	30米ドル	45米ドル	外国籍を持ちかつ海外居住

## 平成 26 年度 物理探査学会表彰

### (1) 第 55 回 (平成 26 年度) 物理探査学会賞

#### 論文賞

- ・受賞者 : 佐藤浩章 (一般財団法人電力中央研究所)
- ・対象論文: 佐藤浩章, 地震動評価のための地表に近い岩盤における減衰の測定とそのモデル化, 物理探査, 65, 37-52.

#### 事例研究賞

- ・受賞者 : 鈴木浩一 (一般財団法人電力中央研究所) ・狩野嘉昭
- ・対象論文: 鈴木浩一・狩野嘉昭, 沿岸域埋め立て地における周波数領域電磁探査法の埋設物探査への適用, 物理探査, 67, 121-133.

#### 奨励賞

- ・受賞者 : 岩田直泰 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)
- ・対象論文: 岩田直泰・津野靖士・山本俊六, 宮崎県中部沿岸部における線状連続の S 波速度構造および地震動の推定, 物理探査, 67, 95-106.

#### 奨励賞

- ・受賞者 : 石田勇介 (鳥取大学)
- ・対象論文: 石田勇介・野口竜也・香川敬生・盛川 仁, 中国地方北部域における重力・磁気データを用いた 3 次元基盤構造モデル推定の試み, 物理探査, 67, 157-170.

### (2) 優秀発表賞

#### ① 第 130 回春季学術講演会 (東京 早稲田大学)

##### ・口頭発表

吉光 奈奈 (東京大学)

対象: 吉光奈奈・古村孝志・前田拓人, 不均質な岩石試料内の波動伝播—実験と数値シミュレーション—

##### ・口頭発表

若林 恭子 (早稲田大学)

対象: 若林恭子・小山研也・伊藤貴宏・横瀬隆司・田中宏和・竹内睦雄・香村一夫, 地層の充電率を用いた廃棄物埋立層内部性状の把握—メタルリッチゾーンに着目して—

##### ・ポスター発表

該当無し

#### ② 第 131 回秋季学術講演会 (静岡 清水テルサ)

##### ・口頭発表

今井 崇公 (東京大学)

対象: 今井崇公・六川修一・愛知正温, SVM を用いた土砂災害危険度の総合評価に関する研究

##### ・口頭発表

新色 隆二 (株式会社地球科学総合研究所)

対象: 新色隆二・土屋真・田中智之・薛 自求・利岡徹馬・東中基倫・阿部進, 苫小牧地点 CCS 大規模実証試験における繰り返し弾性波探査データ処理の精度向上に関する検討

・ポスター発表

Selepeng Ame Thato (秋田大)

対象: Selepeng Ame Thato・坂中伸也・西谷忠師, 3D Numerical Modeling of Loop-Loop  
Negative Apparent Conductivity Anomalies

(3) 学会運営功績賞

相澤 隆生, 須藤 公也

対象: 「Application Manual of Geophysical Methods to Engineering and Environmental  
Problems」EAGE版の製作ならびに発刊に係わる一連の業績

(4) 永年在籍会員表彰

① 在籍30年以上, 満70歳以上

伊藤 潔, 小西 尚俊, 戸室 勝敏, 中川 康一, 早田 守廣

② 50年在籍賛助会員

サンコーコンサルタント株式会社

興亜開発株式会社

株式会社ダイヤコンサルタント

③ 30年在籍賛助会員

株式会社ドリリング計測

西日本技術開発株式会社

株式会社地球科学総合研究所

一般財団法人地域地盤環境研究所

(5) 名誉会員表彰

津 宏治

齋藤 徳美

(6) 功労者表彰 (臨時)

田村 八洲夫, 竹内 睦雄, 佐々木 裕, 茂木 透

以上